



東吾妻町

議会だより

第 35 号

平成26年11月1日

発行：東吾妻町議会



新ルートの新第二吾妻川橋梁（松谷・三島間）付近

新たな歴史を刻む

JR吾妻線 新区間を走行

9月定例会

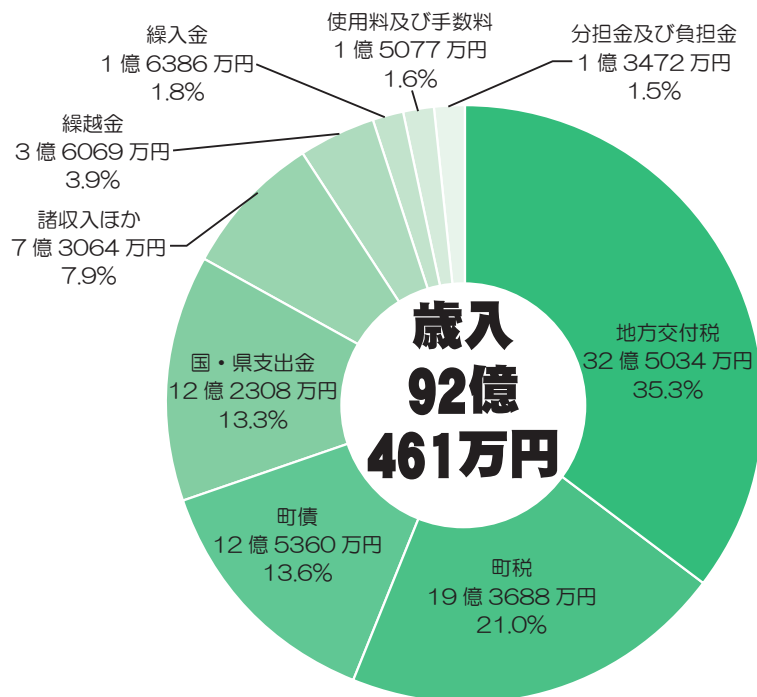
平成25年度の決算を認定……………P 2

「自転車通学生徒の交通安全対策を」など

6議員が町政一般質問……………P 8

の決算を認定

9月定例会



※決算額は、千円以下の単位を切り捨てて表示しています。

平成26年第3回定例会を、9月4日から17日までの14日間の日程で開催しました。今定例会では、町長から提出された平成25年度一般会計・特別会計・事業会計の決算、補正予算、条例の改正など、議案24件を審議し、原案のとおり可決しました。また、委員会提案の意見書提出議案1件を可決しました。一般質問には、6人が登壇し、町政をたできました。



◀あがつまふれあい公園 農産物直売所内

一般会計決算

平成25年度一般会計歳入決算額は、92億4611万円で前年度対比8・4割の増。歳出決算額は、87億986万円で前年度対比7・1割の増でした。

歳入歳出差引額は、4億9475万円。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す財源を引いた実質収支額は、3億8869万円でした。

主な歳入

町税は、19億3688万円で前年度対比1・5割の増。地方交付税は、32億5034万円で前年度対比0・2割の減。町債（町の借金）は、12億5360万円で前年度対比60・5割の増でした。

主な歳出

庁舎建設基金積立金2億円、合併市町村振興基金積立金2億円、地域の元氣臨時交付金基金積立金2億1120万円、ふれあい公園

監査報告

平成25年度一般会計・特別会計・事業会計の決算審査の結果、係数については正確であり、予算の執行はおおむね適正かつ効率的に執行されていること、会計経理および財産に関する事務は適正に処理されていることを確認しました。

監査委員 角田隆紀
茂木恒二

一般会計への審査意見

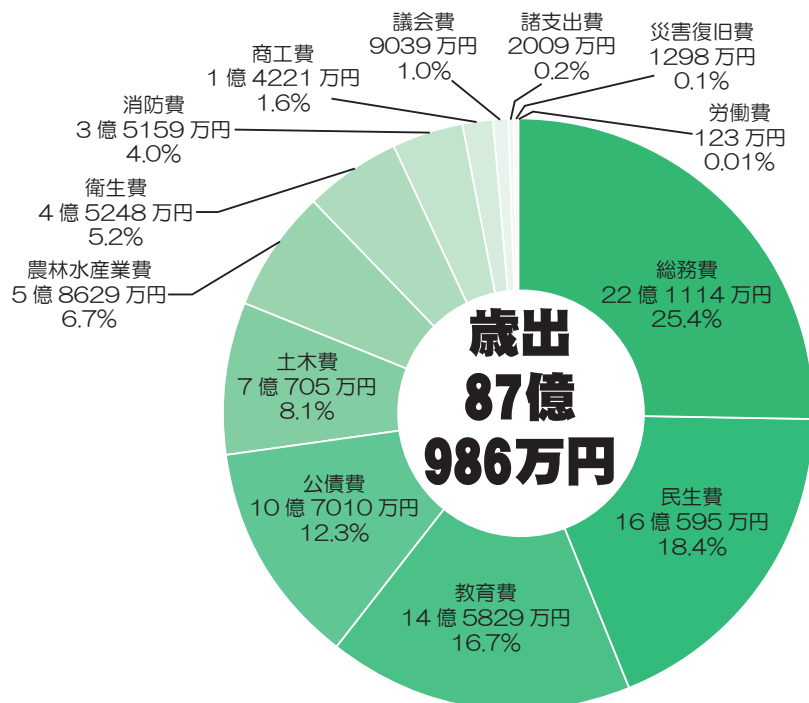
歳入では、自主財源の確保、住民負担の公平性を期す観点から、関係法令に基づき、滞納額、収入未済額の縮減に努めていただきたい。

歳出では、歴史的豪雪被害の補正予算が繰り越しになるなどしたが、そのほかは、おおむね順調に執行されていました。引き続き、効率的で効果的な行政システムを確立し、住民福祉の向上に努めていただきたい。

便益施設新築工事5932万円、地域に密着した介護拠点を整備するための介護基盤緊急整備事業補助金3000万円、原町赤十字病院運営費助成金2805万円、あがつま共同霊園区画増設計委託料229万円、公団営

畜産事業負担金2億4364万円、松谷地区土地改良事業3738万円、住宅新築改修補助金432万円、企業誘致奨励金5342万円、消防自動車購入費3444万円、給食センター新築事業2億984万円、統合中学校施設整備事業2億1672万円などでした。

平成25年度



学校給食センター調理場内



一般会計 決算を問う

企業誘致奨励金

議員 企業誘致奨励金
が支出されているが、
支出した根拠は。

産業課長 企業誘致奨
励金交付条例（平成25
年3月に企業立地促進
条例へ全面改正）を根
拠としている。

議員 25年度に存在し
ない条例を支出根拠と
する説明を。

産業課長 24年度当時、
企業誘致奨励金交付条
例に基づき、3年間の

平成25年度 会計別決算

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額
一 般 会 計	92 億 461 万円	87 億 986 万円
国民健康保険事業勘定	22 億 7248 万円	20 億 8328 万円
特別会計施設勘定	9392 万円	9087 万円
後期高齢者医療特別会計	1 億 8525 万円	1 億 8293 万円
介護保険特別会計	13 億 7421 万円	13 億 4429 万円
特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計	1 億 1436 万円	1 億 1436 万円
地域開発事業特別会計	1 億 4935 万円	1 億 4900 万円
下水道事業特別会計	4 億 9311 万円	4 億 7686 万円
簡易水道特別会計	6967 万円	6849 万円

優遇措置の指定を行った。今回は、その2年目の適用である。
議員 奨励金の交付が3年間の約束になっているのか。
産業課長 企業が固定資産税を完納すること

を条件に、優遇措置の内容となつてゐる奨励金を、単年度ごとに交付するものである。
社会参加費(交際費)
議員 社会参加費(職員が外部の個人や団体との交際に要する経費)

平成25年度 水道事業決算

区 分	収 入	支 出
収 益 的	1 億 9617 万円	1 億 8088 万円
資 本 的	818 万円	9942 万円

※資本的収支の差は、損益勘定保留資金などで補てんしました。

は、規則や要綱で規定されてゐない。執行前に議会へ示すと説明していたが。
町長 支出基準を定め、執行している。
議員 支出は酒席での飲食代に当たると思う

が、その会合は公務か。
町長 すべて公務である。
議員 公務であるならば、適切な科目(負担金)で支出をし、内容を明確にすべきではないか。
町長 負担金で支出すべきものは、そのようにしている。
議員 支出金額の基準を超えているものがあるが。
町長 会合の内容によって、相応の金額としている。
議員 宗教法人主催の催しと思われるものに支出されているが、適切か。
町長 地域の活性化のための祭りに祝い金として支出したもの。
給食センター建設
議員 26年3月28日を工期としていた給食センター新築事業を、2月の豪雪を理由に26年度へ(事故)繰り越したことは、間違いでは

健全化判断比率の報告がありました

(単位 %)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実質公債費比率	15.3 (25.0)	13.9 (25.0)	13.3 (25.0)
将来負担比率	119.2 (350.0)	99.6 (350.0)	93.2 (350.0)

※括弧内の数値は、早期健全化基準であり、当町はその基準を下回っています。

実質公債費比率とは…借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標

将来負担比率とは…地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標

ないか。
教育課長 繰り越し原因は、豪雪によるもの。
議員 当初の工期での進捗率は。
教育課長 80〜90%。
議員 完成間近であれば、1カ月の工期延長が必要なかったのではないか。繰り越し原因は、工期当初で、建築確認がとれなかったことではないか。

教育課長 着工は遅れ込んだが、当初の工期に間に合わなかったのは、豪雪が原因。
議員 延長した工期に完成していたか。
教育課長 4月中の完成を確認している。
議員 繰り越しの理由、工期内の完成に疑問が残る。適切であったか。
教育課長 適切であった。

平成25年度特別会計・事業会計決算 (委員会審議より)

国民健康保険

事業勘定は、実質収支額1億8920万円。基金の積み増しがあり、残高8071万円となりました。

加入世帯2564戸（加入率44.60 $\frac{6}{100}$ ）、被保険者4516人（加入率29.18 $\frac{6}{100}$ ）でした。

国保税の収入済額は4億3785万円（収納率87.3 $\frac{6}{100}$ ）。不能欠損額と収入未済額を合わせて6341万円となり、徴収強化に努力するよう要望しました。

また、特定健診の受診率が40.29 $\frac{6}{100}$ と低下しており、受診率の向上を図るよう要望しました。

施設勘定（国保診療所）は、実質収支額305万円。診療収入が7253万円、受診者数が5166人でした。

今後も町民の健康維持と、地域に密着した医療活動を進めるよう要請しました。

後期高齢者医療

実質収支額231万円。被保険者は3002人です。

保険料の収入済額1億1977万円、不能欠損額3万円、収入未済額15万円でした。

介護保険

実質収支額2991万円。介護給付費準備基金は、1649万円を取り崩し、残高4059万円となりました。

支出済額の保険給付費は13億2075万円（前年度対比5.6 $\frac{6}{100}$ 増）で、要支援も含め、介護認定を受けている人の87 $\frac{6}{100}$ が何らかの介護サービスを利用しています。

認定者数、利用者数、介護給付費ともに増加しています。

特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業

一般会計からの繰入金金が1762万円ありました。

備品として介護用電動ベッド、車いすを購入しました。

平成26年4月から運営が指定管理者に移行しましたので、25年度をもって、同特別会計は廃止となります。

地域開発事業

宅地用地取得2992万円、あづまケーブルテレビ通信システム移行工事3108万円、小水力発電導入基本設計630万円を要したことから、地域開発基金から1100万円を取り崩したほか、一般会計から8084万円を繰り入れ、実質収支額は35万円でした。

収入未済額の解消や住宅団地の未販売区画の早期売却、支出の抑制に努力することを求めました。

下水道事業

実質収支額1624万円。浄化槽整備事業基金から1306万円、一般会計から1億8574万円を繰り入れての運営となりました。

歳入、歳出を抜本的に見直すために、改善策が示されることが必要です。

簡易水道

実質収支額117万円。一般会計から820万円を繰り入れて、運営を維持する状況でした。

適正運営のための改善策が示されることが必要です。



▲上水道（水道事業） 深沢配水池

水道事業

給水戸数4452戸、給水人口1万671人でした。

年度末の未処分利益剰余金が1230万円生じたことから、減債積立金へ積み立てましたが、営業外収益として、一般会計から2000万円の補助金を受けての結果です。

1立方メートル当たり、供給単価129円53銭に対し、給水原価が140円77銭かかっています。

また、資本的支出の70 $\frac{6}{100}$ 近くが企業債の償還金となっており、水道事業の経営改善が求められます。

一般会計補正予算 1億9700万4千円を減額

一般会計補正予算は、歳入歳出を1億9700万4千円減額し、総額を8億9861万8千円としました。

【質疑】

保健室の改修工事費

議員 補正予算の中ですでに執行しているものはないか。

町長

原町中学校保健室の改修工事は、夏休み期間での実施に配慮して執行した。

議員

保健室改修工事の予算は確保してあったのか。

平成26年度 補正予算一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計	△1億9700万円	88億9861万円
国民健康保険事業勘定	2348万円	22億2037万円
特別会 施設勘定	△148万円	9111万円
後期高齢者医療特別会計	231万円	1億9635万円
介護保険特別会計	577万円	14億8480万円
地域開発事業特別会計	300万円	8437万円
下水道事業特別会計	△281万円	5億2609万円

一般会計補正予算（主なもの）

町ホームページ作成ソフト更新および公共施設への公衆無線LANシステム構築事業	1300万円
ふれあい公園事業（追加）	2176万円
子どもインフルエンザ予防接種事業（対象者を18歳以下の全員に拡大）	506万円
道路改良費（追加）	955万円
統合中学校施設整備事業（追加）	2219万円
溪谷自然公園事業（減額）	△3億1023万円
下水道事業特別会計繰出金（減額）	△1606万円

教育課長

すでに確保してある工事請負費の範囲内で工事発注したが、今後、予算が不足するので追加補正をお願いした。

議員

補正予算で決まっていらないものを執行したのか。

教育長

今後、気を付ける。

観光宣伝事業の手当

議員 観光宣伝事業の時間外勤務手当追加は、ふるさと祭のためのものか。

町長

ふるさと祭の内容を充実させ、スムーズに運営できるように確保したい。また、そのほかの観光宣伝イベントの経費も含んでいる。

議員

ふるさと祭に多くの職員が出役すること、これまで実施してきた民間主導の運営体制が崩れるのではないか。今後も手当を確保していくのか。

町長

今年度の実施体制で必要と判断し、予算計上した。来年度以降は事情が違ってくる場合もある。

人権擁護委員候補者を推薦

人権擁護委員の任期（3年）満了に伴う次期候補者に、本多由巳子さん（岩井）と新井ひろみさん（原町）を適任と認めました。

消防自動車購入の契約締結決定

町消防団第4分団第3部（萩生）に消防ポンプ自動車、同第5分団第2部（奥田）に小型ポンプ積載自動車を配備します。

納期は2台とも平成26年度末。契約の内容は次のとおり。

▽消防ポンプ自動車
契約金額 2257万2000円

契約相手 株式会社佐藤工業所（前橋市）

代表取締役 伊藤英明
▽小型ポンプ積載自動車
契約金額 1296万円

契約相手 温井自動車工業株式会社（高崎市）
代表取締役 温井捷男

中学校舎改修2期工事 契約変更締結を決定

統合中学校（東吾妻中学校）の施設整備事業の一環として、平成25年12月から実施してきた原町中学校校舎改修2期工事に、埋設幹線（電気ケーブル）の切り直し、外壁タイルの浮き改修などを追加変更。当初契約を44万2000円増額しました。

議員 工期の変更はあるのか。

教育課長 工期の変更はない。埋設幹線の切り直しは、先行して行います。

議員 先行して着工したのか。議会の議決はどうなるのか。

教育課長 工事の進捗状況に合わせて、変更の工事内容がまとまった段階で、議案をお願いしている。

【質疑】

議員 埋設幹線の切り直しは、当初契約の工事予定に含まれていたのか。別工事とはならないか。先行して

議員 提案時期が間違っていないか。先行して

工事をし、後で議決を
求めることが適切なや
り方か。

町長 適切なことでは
ないが、増改築工事の
一環として必要なこ
とであり、理解願いたい。

議員 事業執行上の手
順を守らないと、信頼
関係にも影響するが。

副町長 今後は注意し
て事務を進めていく。

議員 ときに設計図と
現況に違いが生じるこ
とはあるが、今回の埋
設幹線に関しては、大
きく違っていたことに
より、追加工事が生じ
た。工事の執行にあたっ
ては、業者任せでなく、
担当課が適切に進行管
理する姿勢が必要と思
うが。

町長 今後、このよう
なことがないよう努め
る。

■**税条例等の一部改正**
地方税法の改正によ
り、軽自動車税などを
改定しました。
主な税率（年額）は

次のとおり。

▽軽自動車Ⅱ四輪車乗
用自家用Ⅱ1万800
円

▽軽自動車Ⅱ四輪車貨
物用自家用Ⅱ5000
円

▽小型特殊自動車Ⅱ農
耕作業用Ⅱ2400円
▽原動機付自転車Ⅱ50
cc以下Ⅱ2000円

■**災害対策本部条例の
一部改正**

災害対策基本法の改
正に伴い、引用条項を
変更しました。

■**防災会議条例の一部
改正**

地域防災計画の見直
しを実施することに伴
い、用語などを変更し
ました。

■**吾妻広域町村圏振興
整備組合規約の変更に
関する協議**

吾妻広域町村圏振興
整備組合（吾妻郡の6
町村で組織）が管理、
運用している「ふるさと
市町村圏基金Ⅱ10億
円」について、元本を

処分することができな
いとする規定を、一定
の要件を設けた上で、
処分ができるようにす
るものです。

なお、同組合規約の

変更には、手続きとし
て、関係する6町村の
議会議決のほか、県知
事の許可が必要となり
ます。

みなさんからの請願・陳情

今定例会では、2件
の陳情を審査しました。

審査の結果が本会議

で報告され、次のよう
に決まりました。（提
出者名は敬称略）

採択となりました

（総務建設常任委員会
で審査）

◎**陳情書** 町道526
7号線の道路改良拡幅

工事

提出者 辻区長 菅

採択となりました

（文教厚生常任委員会
で審査）

◎**陳情書** 軽度外傷性

脳損傷仲間会 代表

認定基準の改正などを
求める陳情

提出者 軽度外傷性
脳損傷仲間会 代表

意見書を提出

議会では、次の意見書を提
出しました。

◎**軽度外傷性脳損傷に関わる
周知及び労災認定基準の改正
などを要請する意見書**

【提出先】衆議院議長、参議
院議長、内閣総理大臣、総務
大臣、厚生労働大臣、文部科
学大臣

2 法人（出資法人等）の平成25年度 の経営状況報告がありました

駅北土地区画整理組合

事業開始後18年が経過しました。

平成25年度は、計画された工事が完成する
中、事業を完了するために、換地処分、登記事
務、清算金徴収交付事務の作業を進めてきま
した。

歳入、歳出の総額は、それぞれ8242万円
で、うち3240万円は、清算事務引継金（次
年度への繰越金）として、清算人会へ引き継ぎ
ます。

なお、同事業の業務は、26年度中に全てが
終了となる予定です。

（株）岩櫃ふれあい公社

ホテル（コニファーいわびつ）経営に移行し、
12期目となりました。

平成25年度の集客実績は、宿泊が1万26
18人、日帰りが1900人でした。

事業収支関係では、売上高が1億4409万
円のほか、東京電力による原子力賠償に係る観
光業者の損害賠償金3390万円があり、純利
益は1279万円、自己資本を1414万円と
しました。

公社の抜本的改革への取り組み方針の策定や、
存廃を含めた処理策の検討を進めてきました。

町政を問う



自転車通学生徒の交通安全対策を

答 安全走行モラルの徹底と

走行路整備に努めたい

Q 中学生になると自転車通学が認められる。技術的に未熟な生徒もいる中で、小学生のうちから、ルールやマナーを含め、技術的な指導を進めた方がよいと考えるが。

A 安全指導は各学校で異なるが、基本的な部分では、安全教室や

自転車検定試験などを行い、安全な乗り方や様々な交通ルールを指導している。

Q 自転車での登下校時におけるここ数年の事故件数と原因は。

A 平成23年度以降の管内中学校の事故は、東地区1件、太田地区2件、原町地区3件、

岩島地区2件、坂上地区3件となっている。原因は、東地区の場合は加害者の不注意で、

ほかはスピードの出し過ぎなど生徒本人の不注意が原因であった。

『学校の土曜授業』
Q ゆとり教育の推進で、学力の大幅な低下が心配される。当町の小・中学校のレベルはどうか。

A 小・中学校ともに学習指導要領に沿って

教育課程を編成し、教育を実施してきた。

先生の熱心な指導と子供たちのがんばりで、全国学力テストの結果などからも全国水準を維持している。

Q 隔週での土曜授業の実施などについて、どう考えるか。

A 現状の諸法令および社会状況から、土曜授業の実施は難しい。

『小規模修繕工事希望者登録制度』
Q 地域経済活性化にもなる小規模修繕工事希望者登録制度の推進

方策として、公共施設の再点検など、発注や受注を促すことが必要ではないか。

A 指摘のように、公共施設の再点検はかなりの事業となってくる。今後この制度が、経済の活性化に寄与できればと考えている。



根津光儀議員

地域医療充実の具体策は

答 医師確保と医療従事者養成の

奨学金制度を検討する時期にきている

Q 地域医療充実のために、町はどのように取り組んでいるか。

A 予防接種法や健康

増進法、母子保健法などの法令に基づき、健診や予防接種を行っている。

今年度中に国保データベースシステムが稼働するので、様々な分析を行い、生活習慣

病などの予防に役立て「第2次東吾妻町元気がプラン」の実践に努力したい。

Q 原町日赤病院への補助と成果を、どう考えているか。

A 平成25年度決算で3つの補助金を合わせると、3916万8千円である。

保健事業などで町に協力してもらっているが、住民目線から救急対応などで不満がある



山田信行議員

一般質問



のも事実だ。

吾妻地域の中核病院として、機能、役割を十分に発揮するためには、医師確保などが必要だ。

Q 医師確保のために町長自ら政治的に行動する気持ちはあるか。

A そのような時期にきているので、支援が必要となれば協力は惜しまない。

Q 医療従事者養成のための奨学金制度の創設を期待するが。

A 現時点で原町日赤病院が行っている看護学生を対象とする奨学金制度は、月額5万円で十分な状況ではない。

少子高齢化が進む中で、医療、介護分野の人手不足に対し、町としても検討すべき時期がきていると判断する。

Q 施策実行にあたり、原町日赤病院と町の実務者での定期的な情報交換が必要だ。行政の立場としても十分な話し合いの場を持つべきではないか。

A 病院では年1回運営懇談会を開催している。その構成員は吾妻郡東部3町村の首長や郡医師会、県出先事務所の関係者ら30人ほど

である。この懇談会は、報告や要望に終始しがちである。

実務者レベルで定期的に情報交換をしていくことは、直面している課題に取り組むため必要と考える。今後、病院や関係者と協議していく。

毒性を含む鉄鋼スラグの使用は

答 県、国の調査を待ちながら対応

Q フッ素、六価クロムの毒性について、町長の認識は。

A 毒性があるので、環境安全品質基準に定められているが、基準値以内であれば、健康被害はないと考える。

Q 県の説明では、「路床工、敷き砂利には使用しない」と発表

業、あがつまふれあい

しているが、農産物を生産している所の農道に未舗装の部分が見受けられる。このことについての見解と路線は。

A 調査の結果、使用した工事場所は、県営萩生川西土地改良事業、町営細谷土地改良事業、県単小規模農村整備事業、あがつまふれあい

公園整備工事、県単万騎線改良工事の一部で、町施工の町道においては、敷き砂利路線はない。

町内の道路については、鉄鋼スラグの路盤材としての使用は認められているが、路面工事の保証については、原因がその採石による



金澤敏議員

ものと認められれば、補償を求めている。

Q 佐藤建設工業は、再生砕石を作る資格のある企業なのか。

A 現在、大同特殊鋼に関する鉄鋼スラグ問題について、県が廃棄物処理法に基づき調査

中なので、その結果で判断する。

Q 町長は、町を守る、町民を守るという気概をもって、このことにあたってもらいたい。

また、町民の不安を一瞬も早く取り除いてもらいたい。

A 町民の健康を第一と思ひ、国、県に問い合わせをし、事実が判明すれば即刻対応していく。

予算編成の基本的あり方は

答 将来負担の軽減を図り

総計予算主義の原則により実施



須崎幸一議員

Q 予算編成権と執行権は町長にあり、町民に多くの負担をかけないように町づくりのための予算を組むべきである。

町村合併による財政

Q 現在の特別会計を見直し、一般会計に編入や廃止、名称変更などを行う考えはあるか。

A 町民にわかりにくいものがあれば、名称や内容などについて検討したい。

Q 歳入歳出予算の考え方と留意点は何か。

A 歳入予算では、町税、地方交付税、町債

(借金)の占める割合が大きくなっている。

将来負担となる町債をできるだけ抑えるために、国・県支出金などの交付金を積極的に充当している。

歳出予算は、総計予算主義の原則により予算編成している。

Q これから予算化する大きな事業は何か。

A 新町建設計画にある合併特例事業として、平成32年度まで(6年間)に役場庁舎、保育所整備事業などが想定される。

Q 町民が行政に理解と参加を促すために、新年度の予算書をわかりやすく、課ごとに事業や仕事内容を小冊子にまとめ、毎戸配布か

区長を対象に配布してはどうか。

A 現在、広報誌の5月号で当初予算の特集を組んでおり、その中では会計別予算額や一般会計主要事業などをお知らせしている。

今後は、事業担当課からの意見を集約し、特集ページの増加についても検討する。

Q 再生可能エネルギー推進の観点から十分検討したい。

A 提言を参考にし、町の財政について、今後もしっかりと取り組んでいきたい。

Q 再生可能エネルギー推進の観点から十分検討したい。

A 再生可能エネルギー推進の観点から十分検討したい。

自然再生エネルギーの活用は

答 森林資源をベースに

自然エネルギー活用を推進していきたい



佐藤聡一議員

Q 現在、当町の小水力発電計画が、接続制限によりストップして

いる。東京電力の入札へ積極的に参加する意思はあるか。

A 県北部関係11町村とも連携を図り、発電計画が円滑に実施でき

るようにしたい。

Q ハッ場ダム関連工事の跡地や、地域の中

心地で災害時の基地になる支所、出張所の用地も含め、町内各地で発電推進を検討することとは、将来の蓄電や税の安定収入にも結び付くと思われるが。

一般質問



Q 町内では、すでにバイオマス発電所があり、地元企業による森林の整備のためのチップ工場が稼働。発電所にチップを供給して、徐々に実績を上げていく。

この動きを町もバックアップしながら、原発に頼らないバイオマスや小水力、太陽光発

電などのバランスのとれたエネルギーの地産地消を推進し、関連産業を興すことで、雇用の創出や豊かな生活を

A 実現する考えはあるか。当町でも間伐の促進を助長する森林整備

への相乗効果が生まれる状況になってきた。先進事例の上野村も参

考にしながら、木質ペ

レットなど、自然エネルギーへの転換利用の調査を進めたい。

Q 町内のバイオマス発電所は、雑木を受け入れないようだが、野生動物との住み分けを

含めた里山再生の視点で雑木の処理を考える時期である。

中之条町の計画しているバイオマス発電所

は、雑木も受け入れるようなので、吾妻広域で応援し、地域全体の

雑木、竹などを処理すれば、吾妻全域の里山再生になる。また、畜産から生じるフンなど

も燃料として処理ができれば、もっと環境に良いのではないか。

吾妻広域の町村長で、このことを相談できな

A いか。広域で検討してみたい。

Q ぐんま緑の県民税が4月からスタートしているが、里山再生の視点から、もう少し使いやすい制度にできないか。

A 県と協議検討していきたい。

ボランティアポイント制度の導入で 社会参加のきっかけを

答 地域支援事業として検討を重ねていく



青柳はるみ議員

Q 高齢になっても、介護保険制度を使わない元氣な人が、傾聴ボランテニアや施設で必要とされることをすることにより、自身の健康増進、認知症予防につながる。

介護保険を還元することにもなる施策とし

て、ボランティアポイント制度の導入をすべき。

A ボランティアポイント制度は、社会参加活動を通じて、介護予防を推進する観点から、60歳以上の人が介護保険施設などで活動を行った場合にポイントが得

られ、貯まったポイントに応じて、交付金が受けられる仕組みとなっている。

地域支援事業における元氣な一般高齢者に対する事業の充実とともに、介護保険施設での受入体制や研修などの様々な課題がある。

先行して実施している自治体では、ポイントを商品券に換えている。そうした実例を参考にし、検討を重ねていきたい。

Q 障がいのある人も町を挙げてのスポーツ大会やお祭りなどのイベントに、ボランティ

アとともに出て行き、一体感を持てるよう、ボランティアポイント制度の対象としてはどうか。

A まずは、介護保険施設や在宅、地域における高齢者支援活動に限定してと考えている。将来的には、あらゆる福祉支援活動を、ポイントの対象にしていけたらと思う。

委員会の動き

統合中学校の 整備状況を現地調査

中学校統合等対策 特別委員会

9月10日、説明員として町長、副町長、教育長、教育課長が出席し、委員会を開催。教育課長の校舎改築工事の概要説明後に、来年4月統合を迎える原町

中学校を現地調査しました。

調査では、主に校舎改築工事の進捗状況や、部室新築工事について説明を受けました。

その後、委員会では、中学校統合に関しては、校舎改築工事の設計変更や、スムーズな統合に向けての対応策について、また、給食センターに関しては、給食配送の実施状況とその問題点などについて質問がありました。

▼中学校校舎内の現地調査



集中改革プラン などを調査

行財政改革推進 特別委員会

9月10日に委員会を開催し、主に3点に絞って調査、研究を行いました。

1点目として、6月議会以降の行政改革推進本部などの会議内容

と経過、第2次集中改革プランの実績と総括、次期プランの策定について説明がありました。執行部から、6月議会で否決された組織機構改革に関して、12月議会に提出を目指すとの説明があり、委員からは、このことについて精査を求める旨の意見が出されました。

者と評価を委ねることを求める意見や、人事考課制度の実施状況に関して、不十分との意見が出されました。公共施設のあり方では、温泉センターを他用途で活用することを含めて、早急に検討結果を求める意見が、委員会のたびに出されています。

保育所整備は、「子ども・子育て会議」の結論待ちとのことです。2点目は、集中改革プランについてです。

定員適正化に関しては、今年度は早い段階で退職希望の有無をとり、削減計画に反映していくとのことでした。

今年度から第3次集中改革プランが始まるはずでしたが、点検と総括を行うとのこと、今年度は計画がないまま進められています。

3点目は、「コニファーいわびつ」から、岩櫃ふれあい公社が撤退する件で、施設の所有者である杉並区が事業者の募集を進め、すでに現地説明会を行ったとの説明がありました。

今回、25年度の進捗状況が示され、実績内容としては継続が主で、新たに実施できたものは3点にとどまっています。

委員からは、友好関係にある杉並区と、さらなる連携を求める意見が出されましたが、引き続き交流は行っていくとの回答です。

国、県、町の 事業説明を受ける

ハッ場ダム対策 特別委員会

9月11日、委員会を開き、国、県、町の事業説明を受けました。

国は、8月20日に清水・鉄建・IH I異工種建設工事共同企業体とのダム本体工事契約を結びました。工期は平成30年で、大柏木からの骨材搬入は、採石プラントから全線ベルトコンベアーになり、工期の短縮が計られるようです。

県の事業では、JR吾妻線の切り替えにより、松谷踏切、雁ヶ沢踏切の改修工事が始まります。また、「道の駅あがつま峡」の道路標識が国道、県道に13基設置されます。

議案などの審議結果

議案名等	議員名簿	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
							橋爪英夫	重野能之	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	水出英治	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一	浦野政衛	一場明夫	菅谷光重	
第3回 定例会 平成26年9月4日～17日																					
人権擁護委員候補者の推薦		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/4
人権擁護委員候補者の推薦		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/4
物品購入契約の締結(消防ポンプ自動車)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/4
物品購入契約の締結(小型ポンプ積載自動車)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/4
工事請負契約の変更締結(原町中学校校舎改修2期工事)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/4
吾妻広域町村圏振興整備組合規約の変更に関する協議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/4
平成25年度一般会計歳入歳出決算認定		14	-	11	2	可	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	9/16
平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成25年度水道事業未処分利益剰余金の処分及び決算認定		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
災害対策本部条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
防災会議条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
税条例等の一部改正		14	-	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9/16
平成26年度一般会計補正予算 第4号		14	-	10	3	可	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	9/16
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算 第1号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算 第1号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成26年度介護保険特別会計補正予算 第1号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成26年度地域開発事業特別会計補正予算 第1号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
平成26年度下水道事業特別会計補正予算 第1号		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
陳情書 軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席
議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。(議長 1番)
※…地方自治法第117条により、本人除斥。

熱い声援を受けて競技
吾妻郡民体育祭



第53回吾妻郡民体育祭が9月28日、草津中学校校庭を主会場に開催されました。
議員らは、玉入れ、ターゲットバードゴルフに参加。熱い声援を浴びながら競技に臨んでいました。

町の事業では、10月1日から「あがつまふれあい公園」が指定管理となり、10月11日には公園全体が「道の駅あがつま峡」となります。JR吾妻線廃線敷き、国道145号線跡地活用については、8月11日、技研コンサルと契約を結び、素案づくりをしているとのこと。
委員からは、現在では閉鎖されているダム本体手前のトイレの管理はどうなるのか、ハッ場バイパス上り線からのアクセスの改善、遊歩道の整備、観光的なダム放水計画はあるかなど、活発な意見や質問が出されました。また、ダム直下の発電についての質問に、県は1万1700kw出力の発電所を造ると、具体的な計画を示しました。

まちな声

「村の行方」

加部 敏通 さん
(大柏木)



私の生まれた昭和30年代、物心ついた時の田植え風景は、牛や馬に依存する生活で、田をかくにも鼻緒を取り、舵をきる役と、後を取る役とで下地を作り、植える間隔を印した縄を張り、10人ほどが横一線に並び植えるのです。

昼ともなると、各家庭から持ち寄った、いなりずしや煮物、漬け物を、田の傍らでいただき、互いの情報を交換し、にぎやかなものでした。なぜか、いなりずしと大根の漬け物がやけにおいしかったことを思い出します。

牛や馬に飼料を与えるための採草地があって、山はきれいに整備され、タラの芽やワラビ、ゼンマイは、毎年豊富で、むすびと水筒を持って4～5人でリュックを背に出かけたものです。

このような光景も、さまざまな機械に取って変わり、利便性の追求により、人間が疎遠となってしまいました。

生まれたころと、ほとんど変わらない風景で

すが、大きく様変わりしているのが道路事情です。

小学校に通った時分は、石河原のような状態で、雨が降れば川そのものでした。中学生のころは、自転車で片道7.5kmを通学するのに40分ほど、帰路は1時間以上も要しました。

「早く舗装されれば、楽なんだけどな」。そう友と語ったものでした。舗装された道路は、私たちが高校を卒業する昭和48年以降のことです。

しかし、ハッ場ダム工事関連により、ここ、行き止まりの村「大柏木」は、県道川原畑大戸線が完成すれば、全長約3kmの大柏木トンネルを抜け、不動大橋にアクセスし、道の駅ハッ場ふるさと館まで5分と要しません。川原湯・草津方面への中継地となるのです。

このことを、千載一遇のチャンスと捉え、地域全体の活性化とならないものでしょうか。



大柏木トンネル（現在、立入禁止）

編集後記

9月定例会が閉会して10日間が過ぎた9月27日、御嶽山（長野、岐阜県）が噴火し、火山災害が発生。改めて自然災害の怖さを感じました。

四季の中でもこの時期は、収穫と味覚の秋、スポーツやイベントも盛んに行われ、行楽シーズンでもあります。

今定例会は、決算認定を中心として審議しました。

議会だよりの編集は、特に一般質問のまとめに時間を要しました。紙面の都合で、全てを掲載することができません。できる限りわかりやすく、読みやすくなるように努めています。

広報委員 須崎幸一

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は
12月5日開会予定

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。

傍聴の手続きは、役場3階の議会事務局で受け付けています。

所定の用紙に住所、氏名、年齢の記入をお願いします。